

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月27日更新

事務事業名		健康都市こうし推進事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	福祉の健康					所属部	市長公室	課長名	栗木 清智
	施策	5	健康づくりの推進					所属課	秘書政策課	担当者名	平野 彩愛
	施策の柱	19	病気になるらない生活習慣の確立					所属班	秘書政策班	(内線)	1214
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 25	事業連番 11669	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 2 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本市は「健康幸福都市こうし」として、市民の健康、行財政の健康の2本を骨子に掲げ推進しており、「健康幸福都市こうし」の実現を図る一翼を担うものである。本事業では、健康寿命と平均寿命の乖離を是正し、医療費適正化、また、健康産業市場の開拓・育成を図り、自立して持続的な成長が可能な市場の形成を行う。また、国が2025年を目途に構築を推進している「地域包括ケアシステム」を見据え、医療・介護・健康政策のみならず、地域政策の根幹としての位置付けを目指す。 事業実施主体は「ウエルネスシティこうし」が中心となり、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、市民等を対象とした健康増進事業や健康データの利活用事業等を実施している。
【業務の流れ】	①デジタル田園都市国家構想交付金計画書作成・申請書提出 ②計画書に基づき事業実施体制構築して事業実施 ③負担金や委託料の支払い ④国・県に対して事業実施報告・精算
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、委託料
【意見や要望】	特に意見や要望は上がっていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 健康都市こうしを目指し本市が産学官連携の地域版ヘルスケア産業協議会「ウエルネスシティこうし」と連携し、地域ポイントアプリ『うえるこ』の開発やバーチャルウォーキング大会、ウエルネスチャレンジウィークなどを行い、市民の健康増進や地域経済の循環を図った。(R6.3 現在会員:4,291人、『うえるこ』アクティブ会員:1,204人、公式LINE登録者:384人)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ウエルネスシティこうし事務局運営の負担金として地方創生推進交付金を支出予定。公式LINEアカウント開設、バーチャルウォーキング大会の実施や、地域ポイントアプリの導入などを通して新たな会員の獲得とヘルスケア産業支援を予定している。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア ウエルネスシティこうし正会員数	団体	デジタル田園都市国家構想交付金を活用した取組に係る負担金の減	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
→ ア 市民・企業		→ ア ウエルネスシティこうし会員数(市民)	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
→ ア 健康活動や食育に取組む機運醸成		→ ア 心身が健康だと感じる割合	%
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市民の健康増進と地域版ヘルスケア産業を育成するためにウエルネスシティこうしを設立しており、その目標達成に必要な指標とした。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 団体		15	16	16	13	16	16	16	16
② 対象指標	ア 人		4,302	4,292	4,200	4,291	4,200	4,200	4,200	4,200
③ 成果指標	ア %		54.3	55.9	50.3	55.1	50.4	50.5	50.6	50.7
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	14,148	22,872	27,500	24,649	25,000		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	2,440	3,850	3,000	11,800	8,000		
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	5,143	11,856	27,920	13,742	21,420	120	120
	(A) 事業費計		千円	21,731	38,578	58,420	50,191	54,420	120	120
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	120	120
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円							
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	人		3	4	4	0	4	3	3
		延べ業務時間	時間	1,200	1,800	1,800	0	1,800	1,200	0
	(B) 人件費計	千円		0	0	7,171	0	7,171	4,780	0
トータルコスト(A)+(B)		千円		21,731	38,578	65,591	50,191	61,591	4,900	120

事務事業名	健幸都市こうし推進事業	所属部	市長公室	所属課	秘書政策課
-------	-------------	-----	------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 食に関するヘルスケア産業の育成、ICTを活用したバーチャルウォーキング大会を実施し、市民や会員の健康づくりに寄与した。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ウエルネスシティこうしや、連携する企業・団体が創意工夫により新たな健康産業の創出に向けた取り組みを実施することで達成可能である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 新規事業の創出や会員の増加により、さらなる事業の展開が可能と考える。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 市内唯一の地域版次世代ヘルスケア産業協議会であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 地方創生推進交付金により、ウエルネスシティこうしの運営を行っているが、次年度以降の自走化のために実証事業等を行うため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 正会員の一人として、事務局運営等を確認する必要がある。また推進交付金を支給していることから、予算管理についても確認するため、最小限の事務で行っており削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市・市民に平等にサービス向上を図るための参画事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ウエルネスシティこうしが事務局機能を有しており、正会員の一人として官民連携して活動していることから、行政が役割を担う部分のほかは役割分担して行っているため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

地方創生推進交付金を中心とした国の補助事業により、ウエルネスシティこうしの活動支援を行ってきた。個人会員の増加につなげることができ、市民の健康意識の向上に寄与してきた。また、新たな産学官連携の枠組みの中で、自走化に向けて事業を実施できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<